



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年10月28日 第942号「週刊五十嵐レポート」

## ノーベル賞吉野氏のことば

日経ビジネスにノーベル賞の吉野彰氏のインタビューがあった。

「リチウムイオン電池は、2017年に車載向けがモバイルIT向けを抜いた。2025年には車載向け用途がモバイルIT向けの5倍程度まで拡大する。第3次産業革命がIT革命(スマートフォン)。第4次産業革命がAI(人工知能)、IOTそして『CASE』(つながる、自動運転、シェアリング、電動化)。

2025年以降はAIEV(人工知能が運転する無人自動運転の電気自動車)がマイカーにとって代わる。新車市場はものすごくシュリンクする。自動車メーカーは今の上では生き残れない。組立を手掛ける単なる下請けになる。トヨタ自動車の豊田社長はわかっている。だから危機感を前面に出している。赤字になる前に業態転換すればいい。ハードではなくソフト。製造業だと思っていられませんか?」。

ライフサイクルがあるように、時が経つと売れなくなる商品・サービスが出てくる。特定の商品や業界に固執すると企業は衰退する。やがて亡くなる。

低金利、キャッシュレス化、デジタルマネーの動きなどより、金融機関の存在意義が問われている。特に地銀。金融機関の淘汰は避けられない。その代わりクラウドファンディング等フィンテック企業が台頭してくる。

ドロッカーは、未来を知るための方法は2つあると言っている。1つは、「すでに起こった未来を見る」。すでに起こったことを観察すれば、その先にある変化(未来)も自ずと見えてくる。2つ目は、「自分で未来をつくる」。たとえ小さなものでは事業を興せば、財・サービスと雇用を生み出す。

日本の漁獲量が年々減少している。魚類の飲食業を営んでいる者が豊洲市場で仕入れているが、価格が上昇傾向。さらに海外の和食ブームが火をつけて、海外市場に魚が取られている。世界との争奪戦がはじまった。魚が満身に扱えない時代が来るかもしれない。養殖技術が脚光を浴びている。

時代は辺境から変わる、と。ビジネスにとって「辺境」とは。目を凝らして観察してみよう。

ちょっと  
出た事

朝日新聞が10月22日(火)～26日(土)に「日の丸液晶の落日」という特集。ジャパンディスプレイ(JDI)再建の迷走が書かれている。

2011年8月、東芝、ソニー、日立製作所と産業革新機構が中小型液晶パネル事業の統合会社を設立することを発表。2012年4月発足。

2019年3月期1094億円の純損失計上、5期連続赤字。19年6月、社長引責辞任。社長交代はこれで4回目。

経営破綻寸前で台湾、中国企業から出資を取り付けるも、破断。唯一の救いは大口顧客のアップルからの支援。

中小企業なら倒産している。生かしているのは、お上(経産省)官民ファンド(産業革新機構)等がからんでいるから。

ポイントは2つ。1つは、アップル1社の依存度が高いこと。生殺与奪権がアップルにある。顧客の分散ができていない。(戦略の欠如)

2つ目は、「船頭多くして船山に上る」。オーナーシップ、リーダーシップをとる人がいなかった。(経営者不在)

経営は、役所仕事ではできないということ。当たり前と言えば当たり前。



一口メモ  
知識

### 考えない人は頭がいい

あれもこれも、とりとめもなく考えるのは、じつは「考えていない」ということなのです。

深く考えているようでも、それは智慧のある人とは言えません。

智慧のある人は、すぐに答えがみえるので、考える必要がないのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

